

令和7年7月30日（水）

岡谷市 企画課

## 第1回 旧岡谷市役所庁舎保全基本方針検討委員会

# 会 議 録

### 【出席者】

#### ○委員（6名）

木下 修平委員、高林 千幸委員、通崎 宣史委員、中村 文明委員、浜 一平委員、  
梅干野 成央委員

#### （事務局）

市長 早出 一真  
企画政策部長 岡本 典幸  
企画課長 清水 亮（公務のため欠席）  
同企画官 山岡 泰一郎  
同主幹 芳沢 幸祐  
同主任 小山 健介

# 第1回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和7年7月30日（水）  
午後3時00分～午後4時30分  
岡谷市役所 6階 601会議室

## ○ 委嘱

### 1 開会

#### ・ 市長あいさつ

本日は、「第1回 旧岡谷市役所庁舎保全基本方針検討委員会」にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

ただ今、皆様に委嘱書を交付させていただきました。

この度は、ご多忙のところ快く委員をお引き受けいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、岡谷市は、平野村から昭和11年に市制へ移行して以降、来年4月には市制施行90年を迎えます。

旧岡谷市役所庁舎は、市制施行から現在に至るまで、本市の歴史とともに歩み続けてきた大切な財産であります。

これまで、本市の大切な財産を後世へ引き継ぐため、令和3年に保全基金条例を制定し、令和6年には耐震改修を実施したところでありますが、今後の建物の継承方法を検討いただくため、有識者で構成する本委員会を設立させていただきました。

本委員会での検討事項を踏まえ、11年後の令和18年の市制施行100周年を目標に実施する施設整備を進めるための「保存活用計画案」を策定してまいりたいと考えております。

委員の皆様には、特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

(市長、公務のため退席)

#### ・ 自己紹介

### 2 正副委員長の選出

事務局	それでは、次第に従い、議題の2 正副委員長の選出に入ります。 「旧岡谷市役所庁舎保全基本方針検討委員会設置要綱」第5条には、「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める」とあります。 互選にあたり、事務局から提案をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
-----	--

	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、事務局案として、委員長に浜 一平委員、副委員長に木下 修平委員を提案いたします。 ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、浜委員が委員長に、木下委員が副委員長に決定いたしました。</p>
--	--

### 3 委員長・副委員長あいさつ

### 4 会議事項

事務局	<p>これより会議事項に入ります。</p> <p>「旧岡谷市役所庁舎保全基本方針検討委員会設置要綱 第6条」では「委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。」と規定されておりますので、ここからの進行は浜委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>次第の4の(1)旧岡谷市役所庁舎のこれまでの経過及び(2)今後の進め方について、関連がありますので、事務局より一括で説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(1) 旧岡谷市役所庁舎のこれまでの経過 (2) 今後の進め方 資料：第1回旧岡谷市役所庁舎保全基本方針検討委員会 会議事項 (資料に基づき説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から説明がありましたが、説明に対するご意見、ご質問、委員のお考え等ありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>保全と改修について、いくらでどこまでするのか、そのバランスをどこかの時点で考えていかないといけない。また、お金をかける場合は、その意義を市民に理解いただくために、旧庁舎に対する愛着と保全機運の醸成をあわせてやっていかないと、梯子が外れた話になりかねない。</p> <p>まずは事務局に建物の現況を整理していただいたうえで、次回以降に、これをやるとこうなり、いくらかかるという議論ができるとうい。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>初回ということで、いきなりご意見やご質問は難しいと思いますので、前段の見学会を踏まえて、ご感想等を順番にお願いできればと思います。</p>
委員	<p>保存活用方針について、事務局案では1階の「事務所」のみを考えているということか。</p>
事務局	<p>活用方針に記載の「事務所」については、建築基準法の用途を表してお</p>

	<p>り、建物全体のことを指している。事務局案としては、現状の設備の中で活用を考えていきたいという意味で、建物用途を「事務所」としている。</p>
委員	<p>2階も活用を考えているということで理解した。建物用途が「事務所」の場合、不特定多数の人による利用は可能か。</p>
事務局	<p>現在も市のイベントにあわせて見学会を実施するなど、臨時的に開放することはできるが、例えば「公会堂又は集会場」として常時解放する場合は、消防設備などの整備が必要になる。</p>
委員	<p>1階については、竣工当時の風情が残っているため、あまり手を加えずに活用していくのが良いと思う。ただ、2階については、抜けている天井などの改修は必要と考えている。改修に際しては、意匠を大切にしたい。</p> <p>活用方法については、岡谷の歴史の中で、特に明治以降の製糸産業の歴史に関しては蚕糸博物館で伝えているところだが、製糸産業から派生した味噌や精密加工などの産業、ひいては岡谷の発展の歴史を継承できるような場所ができたかと考えている。蚕糸博物館はお茶を飲むところが無いと言われているため、ちょっとした休憩所などの機能も併設できると良い。</p> <p>どのような保存・活用ができるか、勉強しながら考察していきたい。</p>
委員長	<p>2階の天井については、資料にある庁舎落成時の写真を見ると、オリジナルはアーチ状の形をしており、現在の天井はその下に吊り下がっている状態です。保全を検討するうえで参考にさせていただければと思います。</p>
委員	<p>今回初めて庁舎内を見学し、非常に感動した。活用には、まずは事故の防止に向けた対応が必要と感じた。平成26年に姉妹都市の富岡製糸場が世界遺産に登録され、文化財保護の機運が高まっていると感じる。旧庁舎は岡谷市の代表的な建物であるため、検討委員会を通じて、有効な保存・改修を検討していきたい。イベントで活用する場合は、使いやすさの点から、将来的に空調などの整備も検討する必要があると感じた。</p>
委員	<p>現庁舎の位置に元々あった旧中央小学校のOBで、旧庁舎の周りをよく通っており、北側に鰻の寝床のようにプレハブ小屋が建っていたことを思い出した。本日、庁舎内を見学して、改めて素晴らしい建物だと思った。</p> <p>今後の進め方について、「保存活用計画」の策定という方向性で良いと思う。また、保存方針についても、費用面を考えると「保全」を軸に検討するのが妥当だと思う。</p> <p>一方、活用方針については、商業者の立場からすると、人が集まって賑やかにするというイメージがあり、「事務所」が軸だと少し難しいところがある気がする。皆さんと意見交換しながら、活用方法を検討していきたい。</p>
委員長	<p>活用方法については、建物用途が「事務所」であっても、常設でなければイベントなどに広く活用できるものと考えているため、通常の事務所のイメージにとらわれず柔軟に検討していければと思います。</p>
委員	<p>今回初めて見学したが、活用の仕方によっては岡谷のまちなかの再生に直結していくような建物に生まれ変わるという感覚を強く持った。</p> <p>活用の用途として何を選択していくかは、現在の縛りでは保守的にならざるを得ないところもあるかもしれないが、ぜひ積極的に検討していただいた方が良いと思う。全国的にみても、文化財の活用が地方再生のキーと</p>

	<p>して注目されているので、色々な先進事例を集め、岡谷のまちなかにフィットするような機能を探していただくことが大事だと思う。</p> <p>あれだけの容積を持っている建物なので、単一の用途というよりも、複合的な用途を探していくのも一つ大事なことかと思う。</p> <p>事務局でとても立派なパンフレットというか調査報告書を作成いただいており、内容もとても魅力的だと思う。場合によっては、概要版（配布用）と全体版（販売用）に分けながら、広く活用していけると市民の愛着にも繋がっていくのではないかと。ぜひご検討いただきたい。</p> <p>文化財を研究しているものとして、「保存活用計画」の策定に向けて動いていただけると良い。ただ、懸案事項もあり、文化財の保護の分野なので、事務局に文化財保護を担当する部局の方にも入っていただいた方が良い気がする。将来的に「保存活用計画」を立てていこうとすると、当然、文化庁とのやり取りが必要になり、その窓口は文化財担当になるので、本委員会にも入っていただいた方が心強いし、話がスムーズに進んでいくと思う。場合によっては、市の文化財保護審議会にも諮っていく内容になるので、そちらとの連携も必要になってくると思う。</p> <p>先ほど事務局から「保存」と「保全」という言葉の定義について説明があったが、あまり構えなくてもよい気がする。「保全」という言葉を辞書で引いてみると「保護し、安全にする」という意味で、文化財の「保護」の概念は「保存」と「活用」からなっているので、「保全」という言葉の中に「保存」と「活用」の両方が入ってくる。「保全」は「保護」の代替の言葉として、本委員会は「保存」と「活用」の両方に向けて動いていくという説明でよいのではないかと。事務局の「保全」の定義を強く出してしまうと、今残っている本物の部分をそぎ落とすような意味合いにもなってしまう気がする。今回の活用に向けての改修では、多分に「保存」する部分も出てくると思う。</p> <p>もう一点、雨漏りをしている箇所があったが、これに関しては板金を挟むなど、早急に工事を進めた方が良くと思う。</p>
事務局	<p>雨漏りの工事に関しては、過去に何度も行っているが、寄棟同士がぶつかる谷の部分が原因だったり、雨量や風向きによって変わったりする。現状では、過去の工事の形跡を一度綺麗にして、シンプルにしてあるので、雨漏りの頻度は減っているが止まってははいない。</p>
委員長	<p>早急な雨漏り対策も念頭に置きつつ、保存と活用についても柔軟に進めていければと思います。</p> <p>改めてあの大空間をみると、平野村から市制を施行する目標としての勢いを感じます。先ほど、委員から岡谷市の産業の変遷について話がありましたが、一頃は「石を投げれば社長にあたる」と言われるほど、起業家（起業家）精神の盛んな町でした。上昇志向を持っていることを感じさせる建物であり、地域の産業を支えた精神がそこにあると思います。まちの地盤として、その歴史を継承していけたらと思います。</p>
委員	<p>今後の進め方について、事務局案では第2～3回で「保存方針」、第4～5回で「活用方針」を検討するとのことだが、2つに区切ってしまうと、それぞれの方向性を重ねてみたときに不整合がでてくるかもしれない。「保存方針」については、流動的に、常に考えていくという姿勢を持っておいた方が良く思う。</p> <p>極端な話をすれば、活用から検討するという考え方もあり得ると思う。</p>

委員長	活用から検討すると話題が広がってしまうということもあり、まずは保存からと考えていましたが、流動的に進めて行ければと思います。
委員	保存と活用のバランスの落としどころを検討する上で、建物の「価値」が重要になる。まずは登録有形文化財の登録理由を共有、あるいは増補しながら検討を進めて行ければと思うので、登録当時の資料を早めに共有いただくと良い。 パンフレットの中にも、「価値」の部分を記載していければと思う。
委員長	ほかにいかがでしょうか。 (発言なし)  ありがとうございました。 それでは、議事は以上ですので、進行を事務局にお返しします。

## 5 その他

事務局	ありがとうございました。 その他としまして、事務局からお知らせをさせていただきます。 次回会議について、9月下旬頃の開催を予定しております。日程の調整を改めてお願いいたします。
-----	--

## 6 閉会

事務局	それでは、閉会の挨拶を副委員長お願いいたします。
副委員長	第1回ということで、活発な議論をいただきありがとうございました。 以上を持ちまして、第1回旧岡谷市役所庁舎保全基本方針検討委員会を終了します。お疲れ様でした。